

CHARM

كرايم
КРАСОТА
LEPOTA
URODA

VRILHEID
FREIHEIT
FREEDOM
ИНТУИЦИЯ
عفوية
INTUITION

UGLINESS
Hässlichkeit
MOOI

كأنف
KAMΦ

НЕЗАВИСИМОСТЬ
الاستقلال
قوت
ЗАКОН
RULE
قانون
BILIA

ISHIZUKA Mako

石塚 まほ

Arts Maebashi Artist in Residence PROGRAM

アーツ前橋 滞在制作事業

2022.05.10-06.23

アーツ前橋 滞在制作事業

Arts Maebashi Artist in Residence PROGRAM

《線の対話 (サイド・バイ・サイド)》

ワークショップ + インスタレーション 2019年

協力 | クンストハレ・エクスナーガッセ (オーストリア)、TOKAS (東京)

石塚まこ / ISHIZUKA Mako

ルンド大学マルメ・アート・アカデミー修了 (スウェーデン)。日本では総合文化 (思想・文化・社会学) を、ヨーロッパでは自由美術を学ぶ。さまざまな社会で「他者」として暮らした経験や想像力を足掛りに、インスタレーション、アクト、社会プロジェクト、随筆など多様な表現形式をとりながら、日常と世界の交叉点に見えてくる「隔たり」への介入を試みる。2018年からは動く生活の中にある言語と文化の翻訳にまつわるプロジェクト〈追熟と詠り〉に取り組む。近年の活動に、リガ国際文学フェスティバル (ラトヴィア)、「文字の動きと言葉の行為」(バッグ・ファクトリー、南アフリカ)、「所作の敷衍」(クンストハレ・エクスナーガッセ、オーストリア)、「グローバル化の中の不和」(フランス国立社会科学高等研究院)、「MOT サテライト むすぶ風景」(東京都現代美術館)、「Art Meets 03 石塚まこ/康 (吉田) 夏奈」(アーツ前橋)、「ザ・ニュー・ヴィジョンズ」(ポーラミュージアム アネックス) など。

作家 HP : <https://www.makois.com>

滞在制作
プラン

石塚は近年、動く生活の中にある言語や文化の翻訳のひだに隠れる、逸脱、間違いとされるものや感情を掬いあげるプロジェクト〈追熟と詠り〉を世界各地、自分がよそ者となる社会を転々としながら展開しており、今回の滞在制作は、現代、日本という文脈において石塚が思いを巡らせている3つの関心事——人間性の返上、外に委ねた自己の輪郭確保、現代アートと社会の距離感——と重ねて、このプロジェクトの次なる「転び」の舞台となります。

滞在期間 Residency Period

2022.05.10 - 06.23



パブリックプログラム
Public Program

オープンスタージオ : 2022年6月11日(土) - 12日(日)

13:00-19:00

アーティスト・トーク : 11日(土) 17:00-18:00

会場 : 堅町スタジオ (前橋市千代田町2-4-1)

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

〒371-0022 前橋市千代田町5-1-16

開館時間: 10:00-18:00 水曜休館

Tel: 027-230-1144 Fax: 027-232-2016

<http://www.artsmaebashi.jp/>

5-1-16 Chiyodamachi, Maebashi,

Gunma 371-0022 Japan

Opening Hour: 10:00-18:00

Closed on Wednesdays